



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第二九九号）

小満 しゅうまん  
五月二十一日

## 倭姫宮

改元という節目、人は歴史あるところに行きたくなるのでしょうか。私は、毎年五月五日に行われる倭姫宮の春の例大祭へお参りにいきました。

倭姫宮は、内宮のご祭神、天照大神を伊勢へ導いた倭姫命をおまつりします。第十一代垂仁天皇の皇女で、その偉業をたたえ、大正十二年に伊勢神宮の別宮として、伊勢の倉田山に創建されました。

春の例大祭は、倭姫宮御杖代奉賛会と記された半被を着た方たちがお世話をされています。昭和二十四年に発足した御杖代講が発展解散して、昭和五十二年に結成された団体です。今は、北は北海道から沖縄までおよそ三百七十人の会員がいる全国規模に。古代の皇女を慕う人々の広がりには驚きました。

春の例大祭で人気が高いのが、紙製の鯉のぼりです。その引換券を求めようと、長い行列ができていました。そこには「令和元年 神宮児童福祉祭」の文字が。神宮の児童福祉祭にちなんだ鯉のぼりも、令和初でした。

もう一つ人気なのが、ふるまいのぜんざい。奉賛会の方たちが八百人分用意するもので、たっぷりの小豆に、田舎あられが二つ入っています。ほんのり塩味の素朴なあられが、濃厚なぜんざいによく合います。田舎あられはお茶漬けがテレビなどで紹介され、三重県のソウルフードとして知られるようになりましたが、このような使い方もあるんですね。

倭姫宮は令和四年、創建百周年を迎えます。神宮一二五社で最も新しいお宮も百年になろうとしています。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○ 夏まちまつり

夏が待ち遠しい季節、昔の人々がどのように暑さをしのぎ、夏を楽しんできたかを探り、先人達の夏の過ごし方を一緒に楽しんでいただくお祭りです。

と き／6月7日(金)～9日(日) 10:00～17:30  
(8日は、20:00まで)

※催しによっては開催日時が異なるものもございます。

ところ／おかげ横丁一帯(雨天時は一部中止)

### ● 夏まち大道芸

バナナの叩き売りやガマの油売りなど、どこか懐かしい和芸を中心に、個性豊かな大道芸人が登場。暑さも忘れる口上をお楽しみください。

と き／6月8日(土)、9日(日) 10:00～17:00(8日は延長)

ところ／おかげ横丁内各所

※雨天の場合中止となる場合がございます。

<出演予定者> 三ツ沢グッチ(紙芝居)、石原耕(口上芸)、ももっち(ジャグリング)、筑豊大介(猿舞)、三橋とら(紙芝居屋)、上條充(江戸系あやつり人形)など

### ● 浴衣のレンタル着付け

お気に入りの浴衣を選んで、素敵な姿で町をそぞろ歩きましょう。女性用はもちろん、男性用、お子様用もご用意しております。

と き／6月7日(金)～9日(日)

受付時間 10:00～16:00(8日は18:00まで)

料 金／2,900円～

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

協 力／(有)すかや呉服店

## 五十鈴塾

### ○ 旅する神々③ ～山幸彦の潮路への旅～

山幸彦(火遠理命)は、兄海幸彦(火照命)の釣針を失ったところで、その針を探しに潮路(海)をさまようこととなります。そこで、行き着いたのが綿津見神の宮。豊玉毘売のとりもちにより、釣針を探し得ることができました。山幸彦は、一尋鯨に送られて陸に戻りますが、豊玉毘売もそれを追ったところで出産が間近。さて、その後の顛末は、いかがなことに.....。

と き／5月23日(木) 18:30～20:00

講 師／神崎 宣武(民俗学者・五十鈴塾塾長)

参加費／一般1,600円 会員1,100円

集 合／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

## 五十鈴茶屋

### ○ 節気菓子

あおうめ  
青梅

刻み梅入りの白餡を、外郎生地ういろうで包みました。  
爽やかな青梅の香りが嬉しい、五月雨の便りです。

いせなでしこ  
伊勢撫子

薄紅色の羊羹をきんとんに仕立て、今が盛りと咲く、  
優雅な伊勢撫子に見立てました。

ばな  
どんど花

かつて『紫が雲居にたなびく』とも讃えられた齋宮の花菖蒲を、  
三色の練りきりで表現しました。